

■タイムカプセル埋設の経緯

- 昭和46年2月 黒潮国体及び開県100年記念事業として、モニュメント建立、タイムカプセル埋設を計画
- 昭和46年7月 紀三井寺公園野球場前にモニュメントを建立、除幕式を挙行
- 昭和46年8月 有識者によるタイムカプセル選定委員会を設置、収納物を検討
- 昭和46年10月 黒潮国体開催。選定委員会による収納物の答申（総数109件）
- 昭和47年7月 タイムカプセルを、モニュメント基部に作られた収蔵庫に2個重ねて埋設
・上部カプセルは50年後に開かれるであろう次回国民体育大会時
・下部カプセルは100年後に行われるであろう開県200年記念行事時に開封することとした。

◎タイムカプセルの仕様（1個あたり）

ステンレス製 縦0.88m 横0.88m 高さ0.455m

◎収納品（今回開封分）

＜黒潮国体関係＞

趣意書、国体報告書、行幸啓誌、記録写真集、出場選手・役員用ユニフォーム、入場券、参加章、ポスター、記念たばこ・切手・宝くじ など

＜全国身体障害者スポーツ大会関係＞

大会記録誌、メダル、入場券、参加章、ポスター など

＜青少年関係＞

各種青年団体名簿、黒潮国体成功への青年大集会資料（決意書等） など

＜その他＞

和歌山県市町村勢の概要、小・中・高等学校生の作文・図画 など

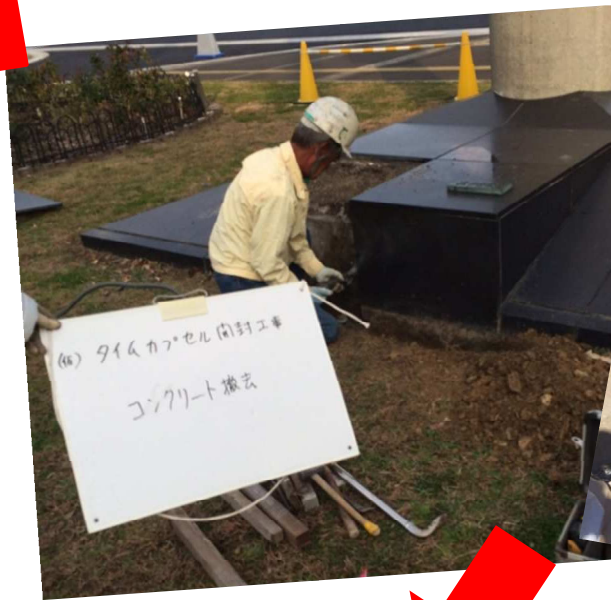
【モニュメント】



タイムカプセル埋設場所



コンクリート・ウレタンを撤去



掘り起こした後

